

リーディングDXスクール事業【実践事例】

玉野市立荘内中学校（岡山県）

【取組内容④】「不登校・欠席生徒へのオンライン授業配信で家庭訪問実施の機会を軽減」

カテゴリー

「不登校・欠席生徒へのオンライン授業配信」(全学年)

活用概要

GIGAスクール構想の中、多様な学びの場を設定していくことは学校の使命であり、登校支援室やオンライン授業配信は行うべき支援です。本校では、常時オンライン授業を配信しています。

使用アプリ等

Meet等ウェブ会議ソフト 等

【活用目標や工夫点、活用の流れや生徒の様子】

- 欠席連絡フォーム送信時、保護者の方はオンライン授業配信を希望するかどうかを入力します。希望があれば、授業を配信します。
- 授業を視聴するだけの生徒もいます。写真のように、グループ協議に参加する生徒もいます。その生徒の状況に応じて、対応方法を変えていく必要があります。
- また不登校の生徒も、自宅でオンライン授業を視聴する生徒もいますし、市の適応指導教室や本校の登校支援室「ほっとルーム」で視聴している生徒もいます。
- 少し違いますが、不登校生徒のうち、授業には参加できないが、放課後に担任とオンライン懇談はできる生徒には、オンライン懇談を実施しています。
- 生徒の課題が多様化する中で、学校が行う支援対策も多様化していくことが必要だと思います。

